

草、牛、人から地域がつながるゆとりある酪農の創出

(根室市)

1 課題の背景

- 対象：根室市和田地域 対象農家15戸
- 多くの農場で、①ほ場管理台帳の整備がなく、土壌診断に基づいた適正施肥が行われていないため植生の悪化、②収穫の遅れによる牧草栄養価の低下が懸念される。
- 分娩間隔は根室管内より長く、分娩前後の飼養管理の改善が求められている。
- 担い手が減少する中、地域として今後の営農体制を検討する場が求められている。

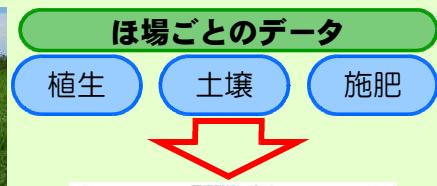
2 活動の経過

(1) 良質粗飼料生産の推進

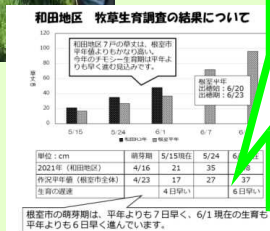
関係機関と連携し、農業者と一緒に土壌採取や植生調査、聞き取り調査を実施！



追肥省力型肥料の試験を行い、慣行区と試験区で生育に差がないことを確認。



草地更新してもすぐにマメ科牧草が衰退してしまう。



生育調査や収量調査を行い、FAXで収穫のタイミングを提示！

ほ場管理台帳の作成支援

(2) 繁殖成績の改善

普及センター、JA、関係機関の間で協力体制を構築して飼養管理とモニタリング調査を実施。



繁殖管理マニュアル

- 1 分娩後 40 日を目安でフレッシュチェック
- 2 分娩後 60～80 日まで(に)初回授精
- 3 授精後 45 日を目安(に)直腸検査(による)妊娠鑑定
- 4 初回授精が遅れる牛(分娩後 80 日過ぎる)は・・・

JA 授精師や NOSAI に相談(シダーやホルモン処置など牛の状態に合わせて判断を仰ぐ)

現状
平均初回授精日：101 日 (R3 年 12 月乳検)
平均空胎日数：179 日 (R3 年 12 月乳検)
目標
平均初回授精日：85 日
空胎日数：150 日
目標の達成を目指して一緒に頑張りましょう！

後継者と一緒に繁殖成績の目標を決め、繁殖管理マニュアルの作成を支援

(3) 労働環境の改善

労働環境調査・要望アンケート
農場ごとの現在や将来の労働力、外部委託状況などの整理

外部雇用アンケート
外部委託業者ごとの作業受託の可能性を整理！

現状で労働力不足を実感	2戸
将来的に労働力不足の可能性あり	7戸
外部委託に関心あり	6戸
共同作業もしくはTMRcに関心あり	2戸

個別巡回
地域および個々の将来構想について検討！

農業者の聞き取り結果抜粋

3 活動の成果 *****

(1) 良質粗飼料生産の推進

適正施肥の実践

D農場

一部の草地を、慣行施肥から追肥省力型肥料を施肥することに決めました。

L農場

草地へのライムケーキ散布を準備し、雑草の多いほ場で自家更新を行うことに決めました。

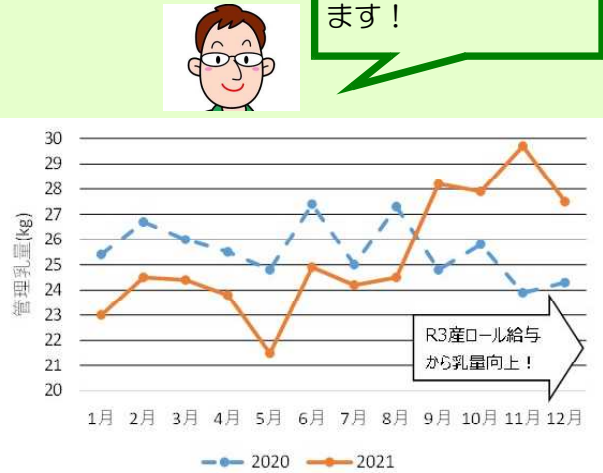
石灰施用の重要性が再確認できたので、来年はライムケーキを散布し、草地を長持ちできるようにします！

適期収穫の実践

M農場では地域で一番早く（6/8～）収穫した結果、粗飼料の栄養価、乳量、乳成分が向上しました。



R3 (DM%)	地域平均 (N=9,5戸)	M農場 (N=1)
CP	11.1	12.5
TDN	57.2	70.7



(2) 繁殖成績の改善

モデル農場での取り組み

各農場の栄養改善

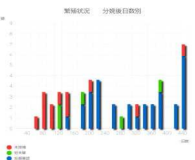
農場	取り組み内容
F	自動給餌器の回数を7→8回に変更
H	配合飼料給与量を0.5kg/(頭/回)増量
J	配合飼料給与量を0.6kg/(頭/回)増量

繁殖管理の取組 (F, J)

新たに乳検DLを活用し、スマートフォンで繁殖情報の管理を始めた。

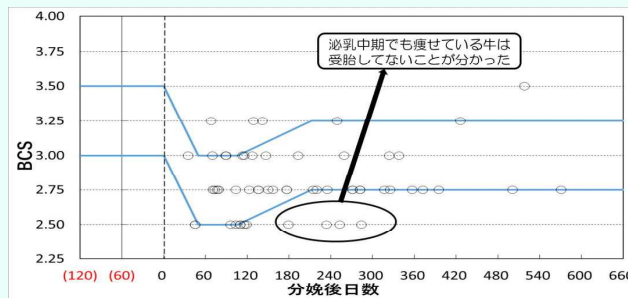


未授精牛 (経産)	12頭
未授精牛 (未経産)	18頭
授精牛 (再発・妊娠)	6頭
乾乳予定	24頭
分娩予定	18頭



後継者の意識が変化！

後継者はモニタリング調査の結果から問題意識を持つようになり、繁殖管理マニュアルから繁殖管理に主体的に取り組むようになりました。



(3) 労働環境の改善

農業者が地域および自農場の将来構想について積極的に考えるようになりました。



「地域で集まり意見を出し合う場がない」
「委託業者も交え、実際に作業可能な作業について話し合う場が必要だね」

4 今後の活動 *****

「良質粗飼料生産の推進」、「繁殖成績の改善」、「労働環境の改善」それぞれの取り組み支援を継続する。担い手が減少する中、地域内で一部作業の共同化、地域として今後の営農体制を検討できるように進めていきます。